

【表紙】

【提出書類】 半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の5 第5項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2025年12月5日

【中間会計期間】 第62期中（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）

【会社名】 株式会社ミダックホールディングス

【英訳名】 MIDAC HOLDINGS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 加藤 恵子

【本店の所在の場所】 浜松市中央区有玉南町2163番地

【電話番号】 (053) 471-9364 (代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 高田 廣明

【最寄りの連絡場所】 浜松市中央区板屋町111-2 浜松アクトタワー24F

【電話番号】 (053) 488-7173

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 高田 廣明

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄三丁目8番20号)

1 【半期報告書の訂正報告書の提出理由】

2025年11月14日に提出いたしました第62期中（自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 財政状態及び経営成績の状況

b. 経営成績

3 【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

2 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

b. 経営成績

(訂正前)

省略

廃棄物処分事業

最終処分場においては、旺盛な埋立需要を背景に最終処分場における廃棄物受託量が増加しました。また、焼却施設を中心とした中間処理施設においても、既存取引先からの受託量は安定的に推移しました。以上の結果、売上高は4,354百万円(同9.5%増)となり、セグメント利益は2,357百万円(同13.5%増)となりました。

収集運搬事業

産業廃棄物においては、大口案件の減少等により受託量は前期に比べ減少しましたが、取引先に対する価格転嫁を進めたことで、前期並みの売上を確保しました。一般廃棄物においては、株式会社フレンドサニタリーについては前期に比ベスポット案件が減少しました。株式会社ミダックライナーにおいては飲食店を中心とした新規開拓に注力した結果、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は939百万円(同3.6%減)となり、セグメント利益は209百万円(同26.4%減)となりました。

仲介管理事業

大口案件の獲得により、協力会社への仲介は好調に推移しました。以上の結果、売上高は89百万円(同15.6%増)となり、セグメント利益は53百万円(同26.2%増)となりました。

(訂正後)

省略

廃棄物処分事業

最終処分場においては、旺盛な埋立需要を背景に最終処分場における廃棄物受託量が増加しました。また、焼却施設を中心とした中間処理施設においても、既存取引先からの受託量は安定的に推移しました。以上の結果、売上高は4,358百万円(同9.5%増)となり、セグメント利益は2,357百万円(同13.5%増)となりました。

収集運搬事業

産業廃棄物においては、大口案件の減少等により受託量は前期に比べ減少しましたが、取引先に対する価格転嫁を進めたことで、前期並みの売上を確保しました。一般廃棄物においては、株式会社フレンドサニタリーについては前期に比ベスポット案件が減少しました。株式会社ミダックライナーにおいては飲食店を中心とした新規開拓に注力した結果、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は935百万円(同3.5%減)となり、セグメント利益は209百万円(同26.2%減)となりました。

仲介管理事業

大口案件の獲得により、協力会社への仲介は好調に推移しました。以上の結果、売上高は74百万円(同21.0%増)となり、セグメント利益は53百万円(同25.4%増)となりました。